



古河市産業ビジョン策定ワークショップ

～古河市を稼げる地域へ～

RESAS及び各種統計情報のデータ分析結果

令和8年2月17日（火）

場所：古河市役所古河庁舎全員協議会室

[目次]

- ①古河市の概要
- ②ワークショップ実施の背景
- ③現況分析
(人口動態、地域経済循環、観光、商工業、農業)
- ④データから見た古河市の現状と課題
- ⑤ワークショップへ

◆沿革

古河市は万葉の時代から続く歴史を持ち、室町時代の古河公方の本拠地として栄え、江戸時代には古河城下町や宿場町として発展しました。明治初期の廃藩置県を経て市制施行し、昭和30年には周辺の村との合併を重ね県西地域の中核都市へ発展しました。

平成17年9月12日には旧古河市、総和町、三和町が合併し、現在の古河市が誕生しました。都内から60km圏内の利を生かし、住宅開発が進み、ベッドタウンの役割も持ちつつ、商業、工業、農業がそれぞれの特性がある市となっております。

◆地勢

関東平野の中央に位置し、利根川が流れる標高が低い沖積低地と、標高15～20メートル前後の洪積台地から形成されています。また、渡良瀬川が利根川に合流しており、南部を利根川が東流、西部を渡良瀬川が流れるのが特徴です。

ほぼ全域が平坦で、気候も温暖で恵まれているため、古くから人々の生活や生産の場として利用されてきました。

特産品やスポット

鮒甘露煮



文化庁100年フード(伝統の100年フード部門～江戸時代から続く郷土の料理～)に認定されました。

伝統の100年フード部門で県内初認定となりました。

古河公方公園



歴史的な価値を持つ古河市の象徴的な都市公園です。春には美しい紅白の花が咲く桃林、初夏の水面には太古から蘇った大賀ハスが水面に大輪を咲かせます。2003年にはユネスコとギリシャが主催する「メリナ・メルクーリ国際賞」を日本で初めて受賞しました。

道の駅まくらがの里



茨城県最大級の道の駅

地元古河の朝どれ新鮮野菜・果物・こだわりのお米・お花・専門店のお弁当やお惣菜などをたっぷりご用意している「つくり手の顔が見える直売所」です。

サンワ設計ネーブルパーク



広い敷地内には様々な施設があり、多目的広場や芝生広場、バーベキュー場、アスレチック施設、などがあります。また、春には桜が満開になり多くの人々が花見を楽しんでいます。

代表的な名産品

にんじん(彩誉)



ニガウリ



サニーレタス



かぼちゃ



ブロッコリー



長なす



歴史、文化、芸術のまち古河市



篆刻美術館



古河歴史博物館



古河街角美術館



古河文学館

古河のまつり

古河提灯竿もみまつり



古河桃まつり



古河七福神めぐり



古河花火大会



さんさんまつり



古河関東ド・マンナカ祭り



②ワークショップ実施の背景

分析手法



③現況分析

(人口動態、地域經濟循環、觀光、商工業、農業)

古河市の人口動態

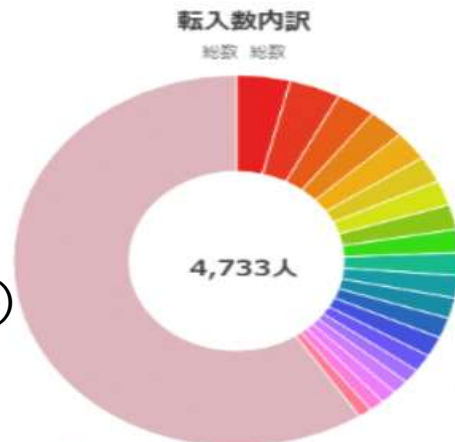
古河市の人口（転入・転出）

2023年

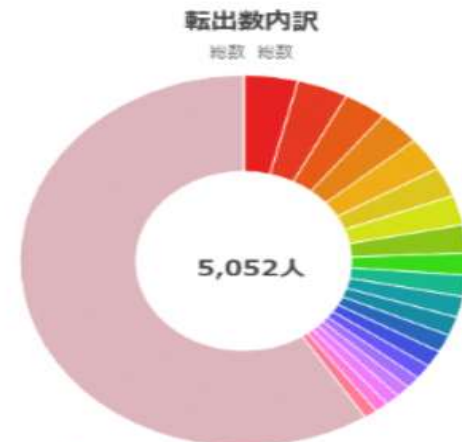
古河市転入数内訳、
転出数内訳

RESASFrom-to（定住人口）

全体としては転出超過
（+319人）



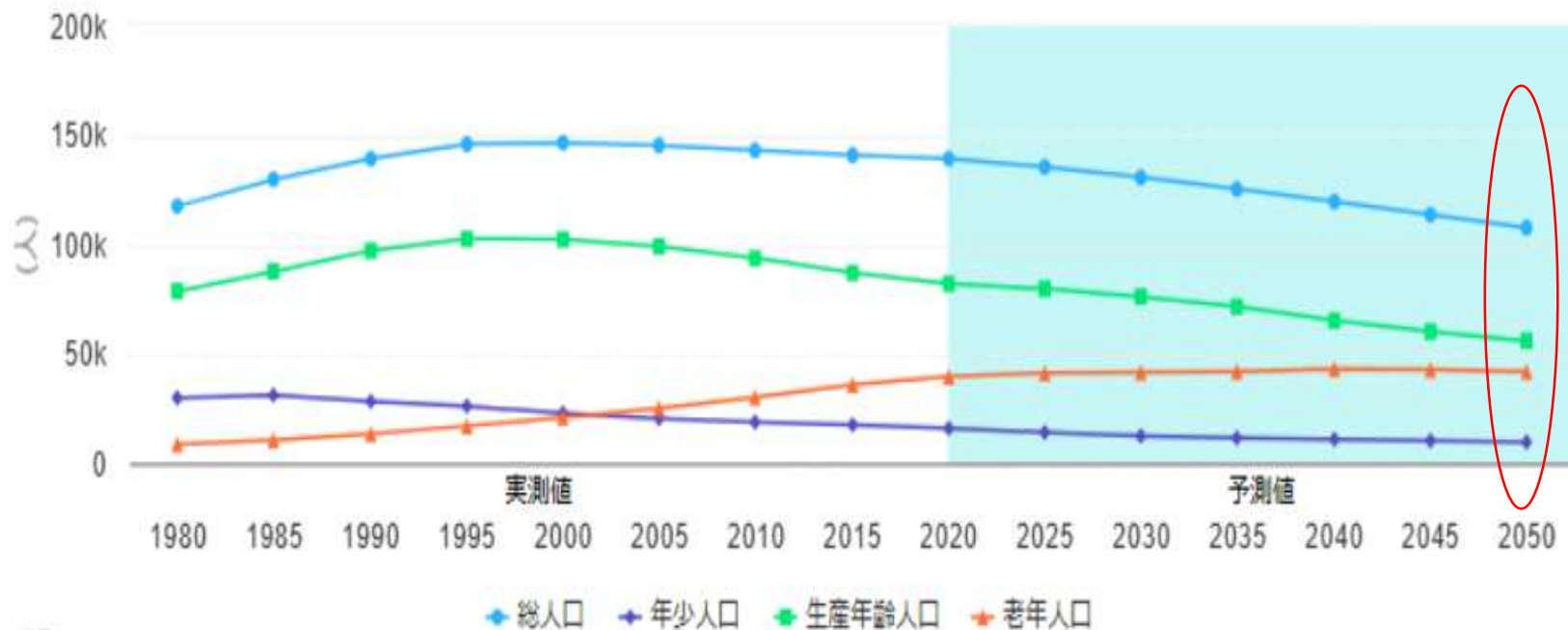
- 1位 栃木県小山市 184人 (3.89%)
- 2位 茨城県境町 176人 (3.72%)
- 3位 埼玉県さいたま市 134人 (2.83%)
- 4位 埼玉県久喜市 125人 (2.64%)
- 5位 栃木県野木町 121人 (2.56%)
- 6位 茨城県坂東市 108人 (2.28%)
- 7位 茨城県結城市 104人 (2.20%)
- 8位 栃木県宇都宮市 102人 (2.16%)
- 9位 茨城県八千代町 95人 (2.01%)
- 10位 埼玉県加須市 94人 (1.99%)



- 1位 埼玉県さいたま市 198人 (3.92%)
- 2位 栃木県小山市 186人 (3.68%)
- 3位 茨城県境町 158人 (3.13%)
- 4位 群馬県太田市 154人 (3.05%)
- 5位 栃木県野木町 148人 (2.93%)
- 6位 埼玉県久喜市 131人 (2.59%)
- 7位 神奈川県横浜 130人 (2.57%)
- 8位 栃木県宇都宮市 123人 (2.43%)
- 9位 茨城県つくば市 97人 (1.92%)
- 10位 茨城県結城市 94人 (1.86%)

出典：「RESAS地域経済分析システムー人口マップ-社会増減分析」

人口推移



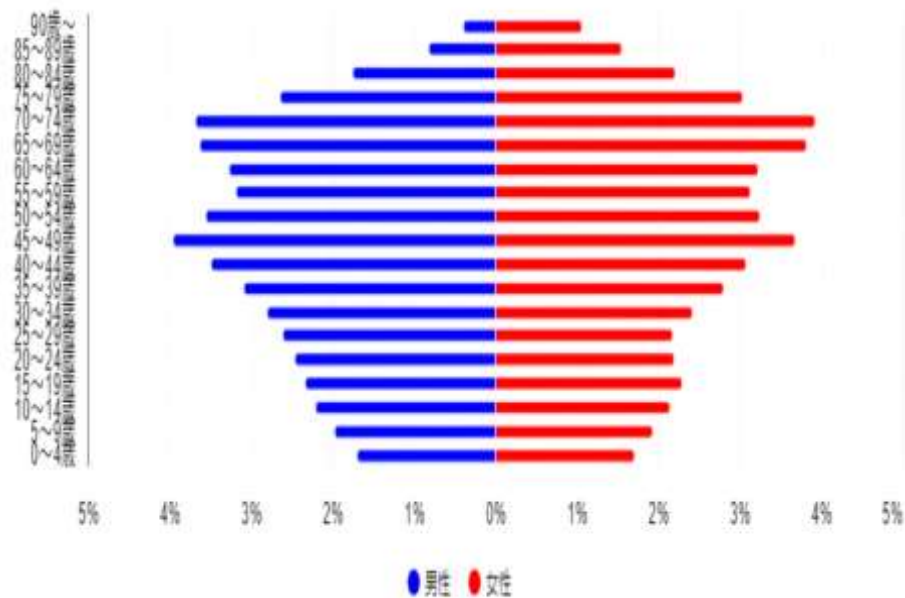
出典:

1. 総務省「国勢調査」

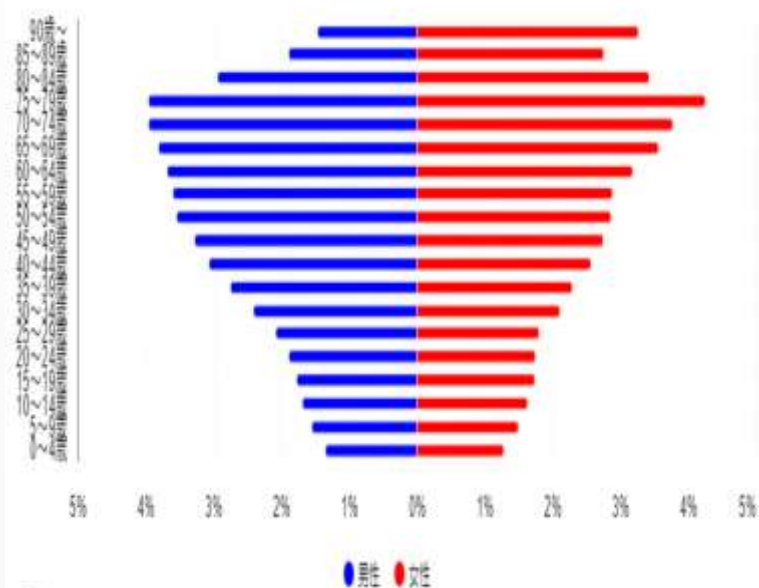
2. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

人口ピラミッド

2020年



2050年



出典

1. 国勢調査統計局

2. 国勢調査統計局の人口推計資料

人口増減



出典:

1. 総務省「国勢調査」図
2. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」図

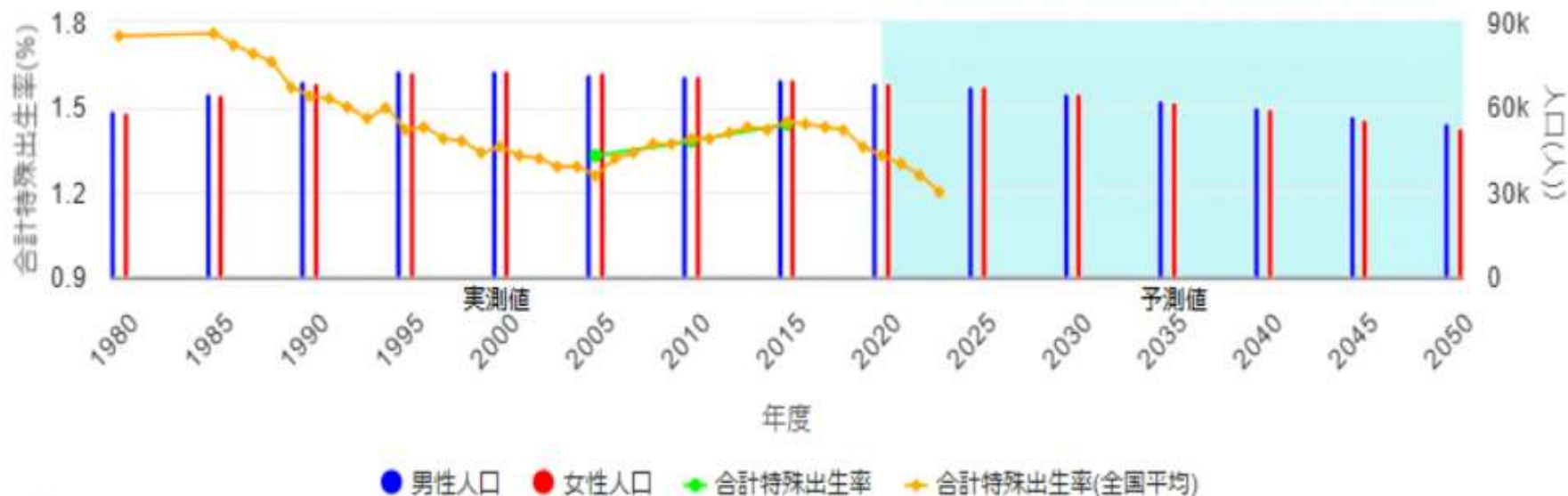
自然増減・社会増減の推移



出典:

1. 厚生労働省「人口動態調査」
2. 総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」

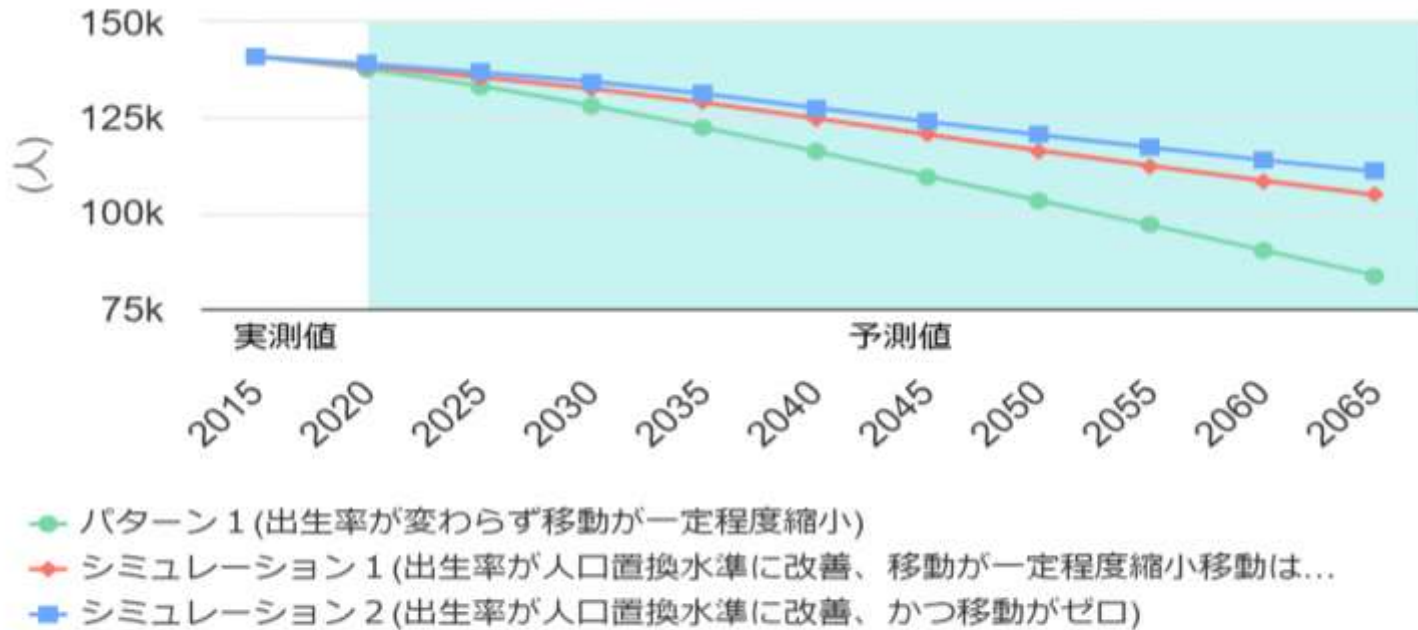
合計特殊出生率と人口推移



出典:

1. 総務省「国勢調査」
2. 厚生労働省「人口動態調査」
3. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

総人口推計



パターン1
140,946人
→83,692人

シミュレーション1
104,770人

シミュレーション2
110,870人

出典:

1. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づき、
まち・ひと・しごと創生本部作成 open_in_new

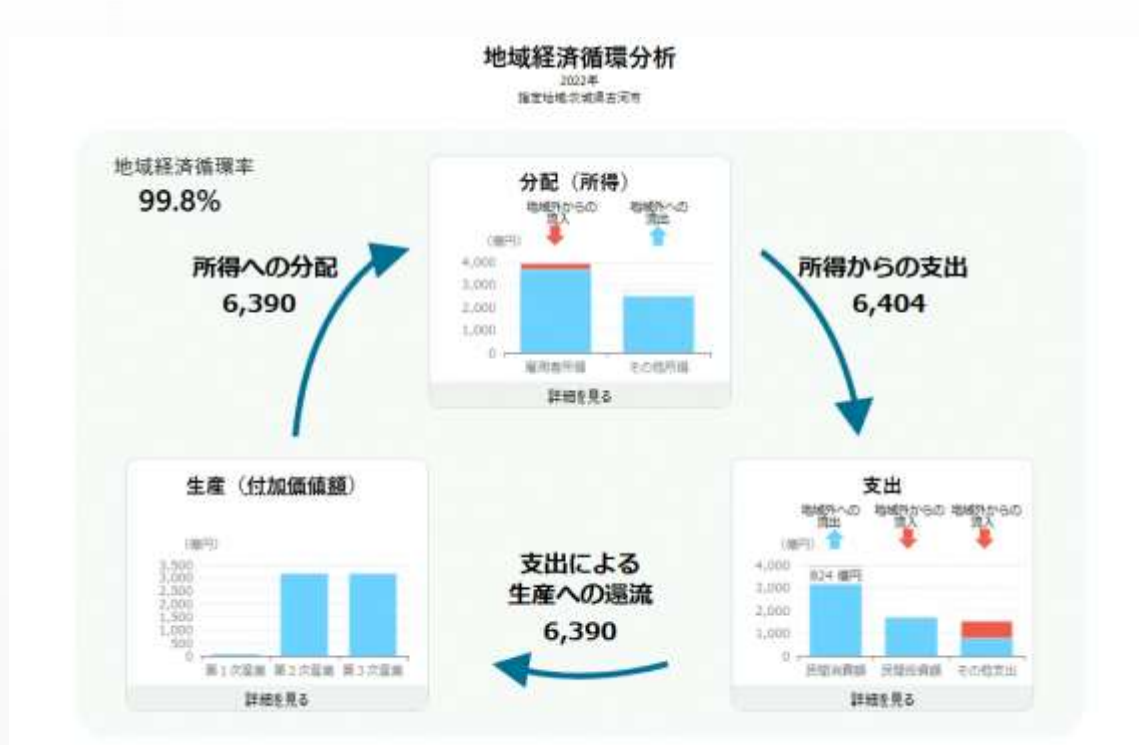
出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づき、まち・ひと・しごと創生本部作成

古河市の地域経済循環

古河市の地域経済循環分析

2022年

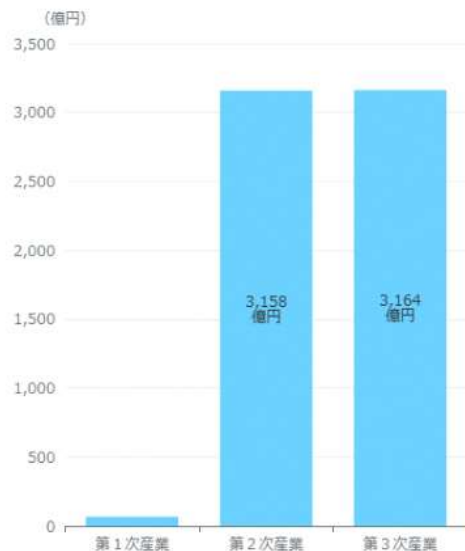
指定地域:茨城県古河市



出典:「RESAS地域経済分析システムー地域経済循環分析」

地域経済循環分析(生産:付加価値額)

生産（付加価値額）



	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額（一人当たり）	369万円	1,362万円	876万円
付加価値額（一人当たり）順位	415位	305位	443位

【グラフと表の見方】

「生産（付加価値額）」では、地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた付加価値額を把握することができます。

地域の第1次産業、第2次産業、第3次産業を付加価値額のグラフで比較することが可能です。加えて、地域の当該産業の従業者一人当たりの付加価値額（労働生産性）を表で把握することができます。

順位は、都道府県単位では全国47都道府県、市区町村単位では全国1,741市区町村におけるランキングとなっています。

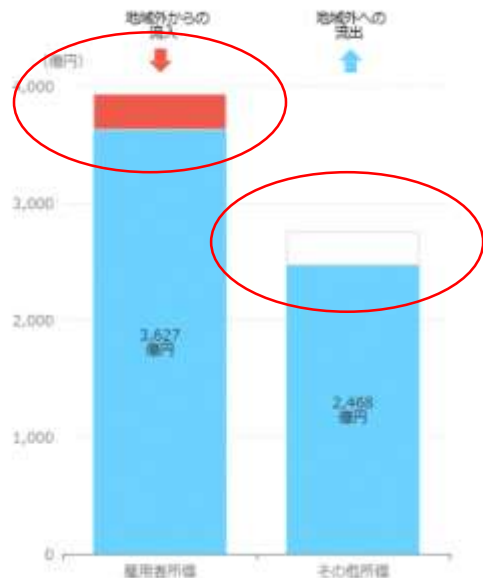
2022年

推定地域:茨城県古河市

第1次産業で68億円、第2次産業で3,158億円、第3次産業で3,164億円となっています。

地域経済循環分析（分配：所得）

分配（所得）



	雇用者所得	その他所得
所得（一人当たり）	285万円	179万円
所得（一人当たり）順位	192位	1,412位

【グラフと表の見方】

「分配（所得）」では、地域産業が修いた付加価値額がどのように所得として分配されたかを把握することができます。

「分配（所得）」は、雇用者に支払われた「雇用者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の「その他所得」で構成されます。

各種グラフは、地域内の住民・企業等に分配された所得の総額を示しています。地域内の住民・企業等が得る所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から所得が流入していることを意味します。

逆に、地域内の住民・企業等が得る所得より、地域の産業が分配する所得が多い場合は、その差額が空白の四角で表示され、所得が地域外に流出していることを意味します。

上記の表では、人口一人当たりの雇用者所得及びその他所得を把握することができます。

2022年

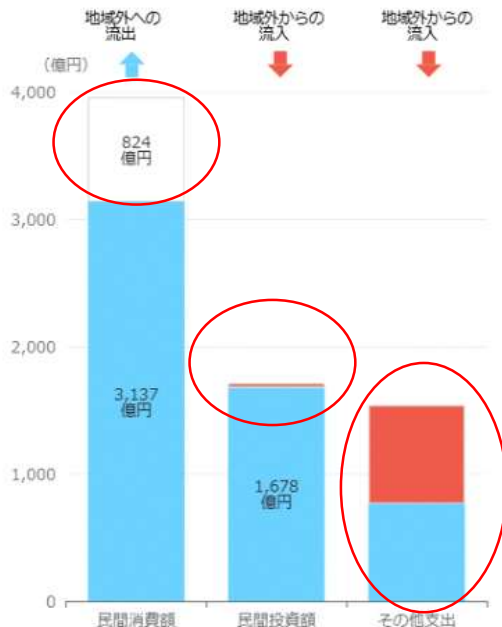
推定地域：茨城県古河市

雇用者所得は、地域外から309億円流入。その他所得で295億円地域外へ流出しています。

地域経済循環分析（支出）

2022年
推定地域：茨城県古河市

民間消費で824億円地域外へ流出しています。
一方で、民間投資で34億円、
その他支出で地域外から776億円流入しており、地域住民・企業から765億円支出しています。



支出

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	-20.8%	2.0%	101.3%
支出流出入率順位	1,434位	400位	106位

【グラフと表の見方】

「支出」では、地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握することができます。

「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移輸出収支額等を示す「その他支出」で構成されます。

各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示しています。

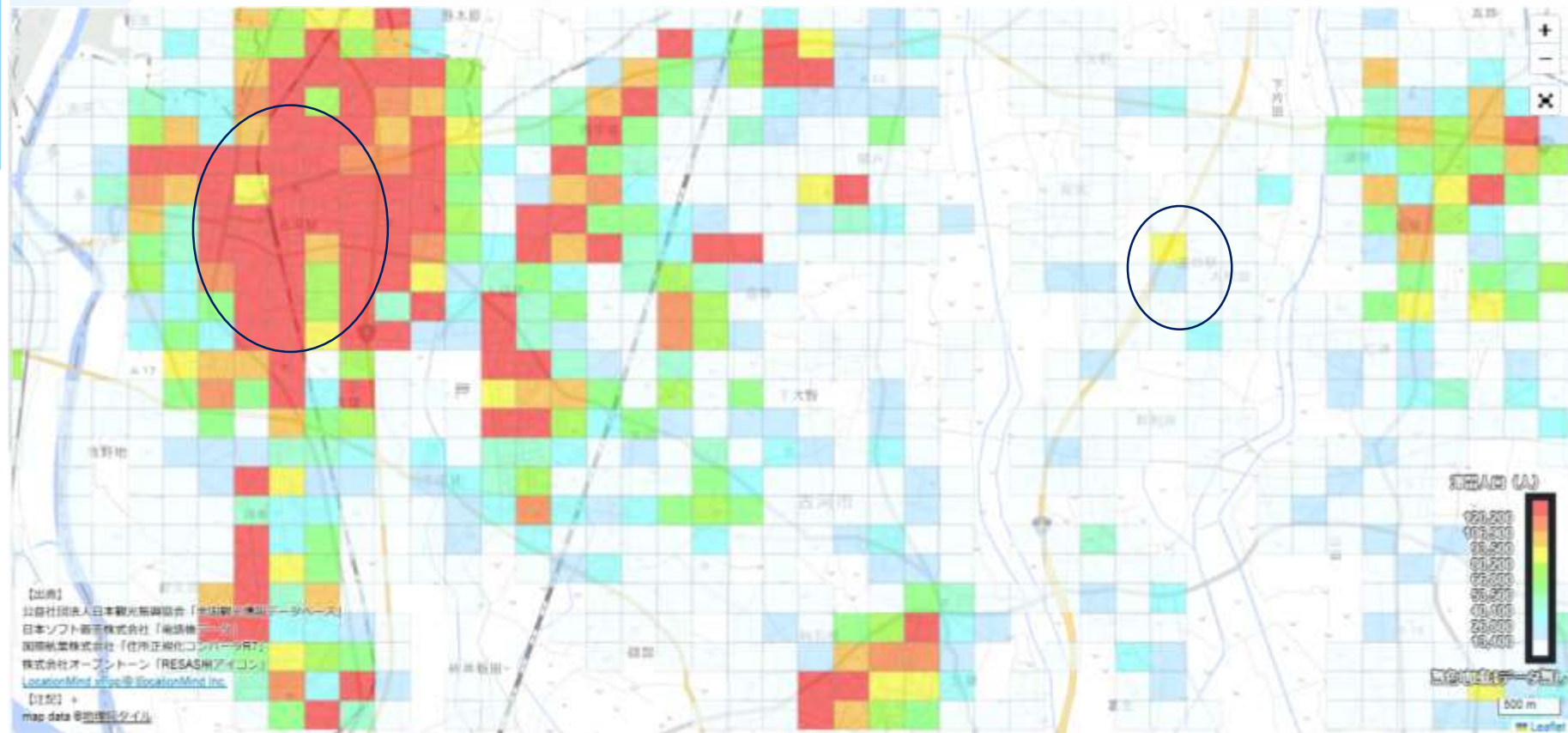
地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味します。

逆に、地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、支出が地域外から流入していることを意味します。

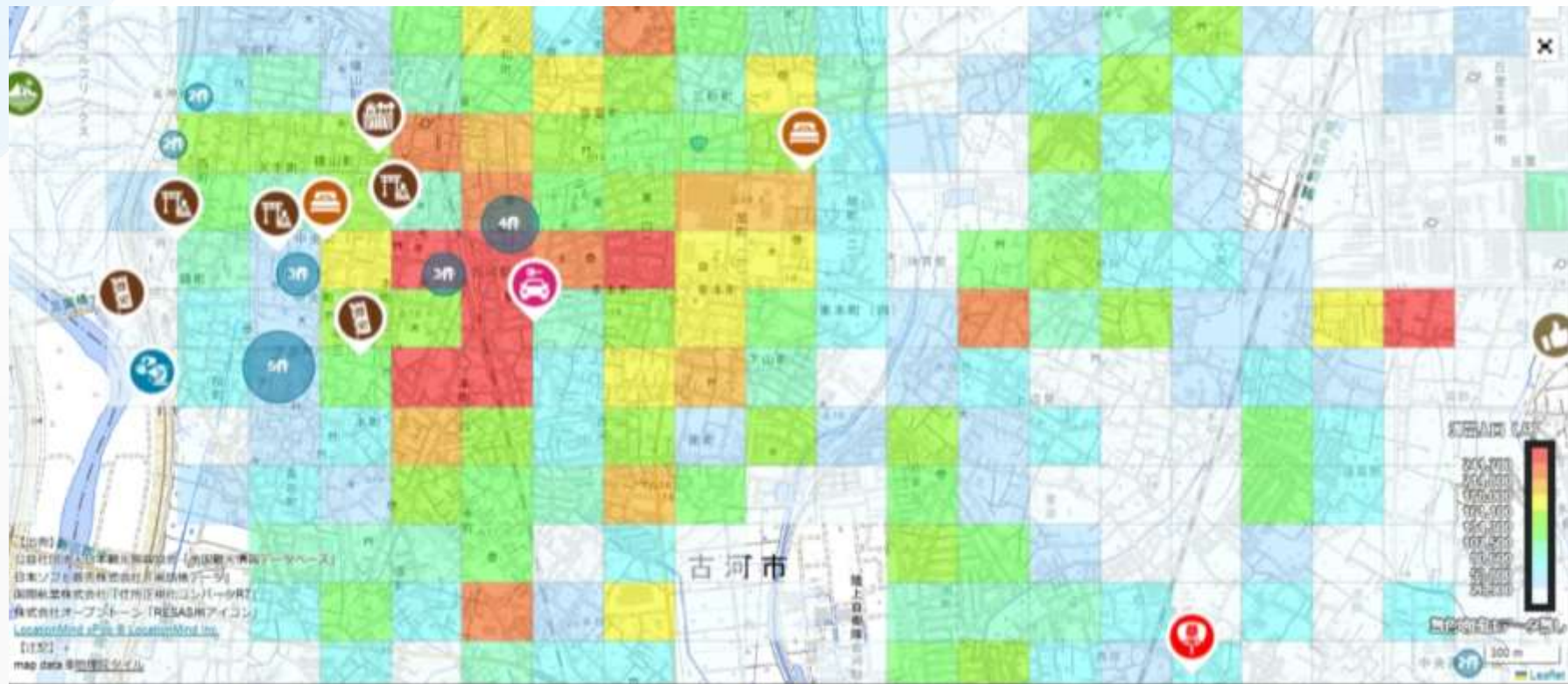
上記の表は、地域内の住民・企業等が支出した金額に対する流出入額の比率を示す「支出流出入率」を把握することができます。

古河市の観光

古河市の滞留人口



古河駅周辺



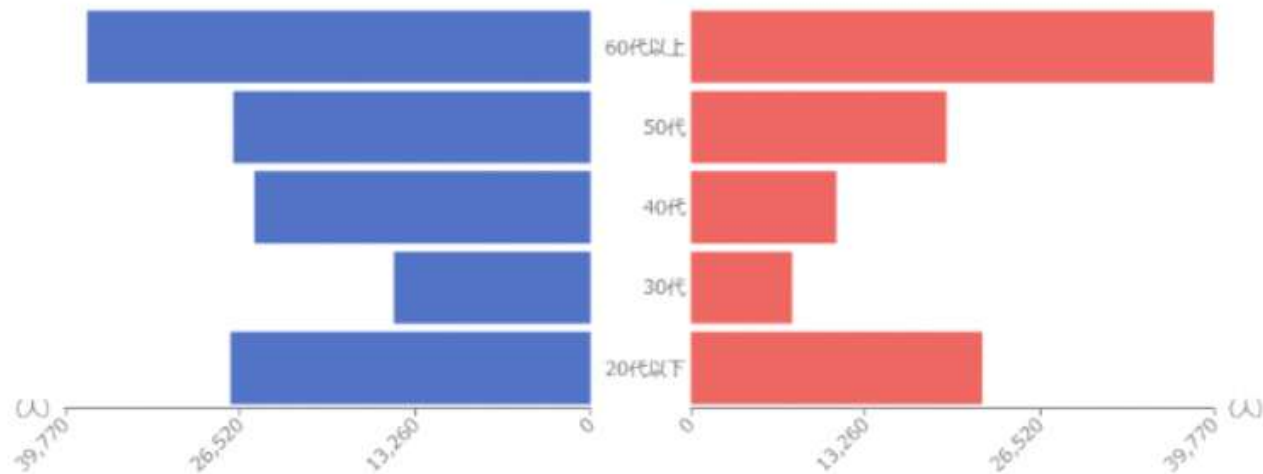
古河駅周辺

滞留人口ピラミッド

2024年 すべての月 すべての日 すべての時間帯 250mメッシュ
(すべての推定居住地)

総数 296,350人 (性別・年代不明を含む)

■ 男性 ■ 女性



【出典】

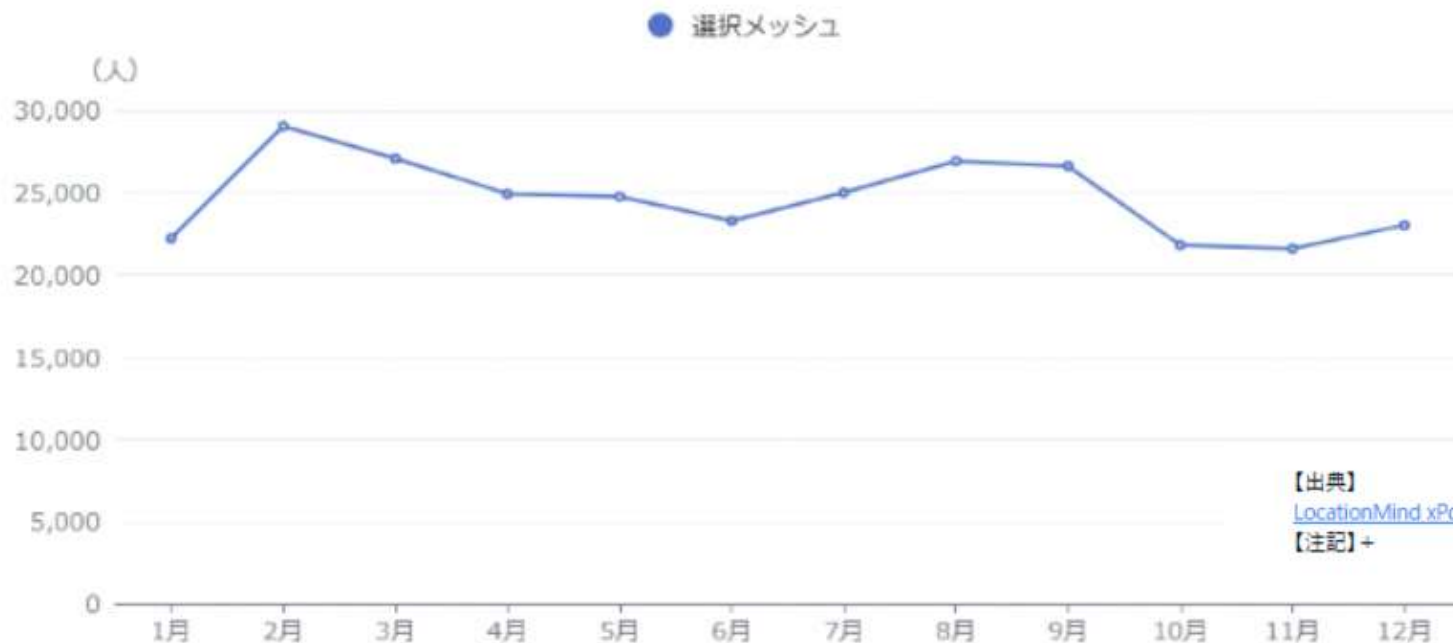
[LocationMind xPop](#) © LocationMind Inc.

【注記】+

古河駅周辺

滞留人口の月別推移

2024年 すべての日 すべての時間帯 250mメッシュ
(すべての性別、すべての年代、すべての推定居住地)



【出典】

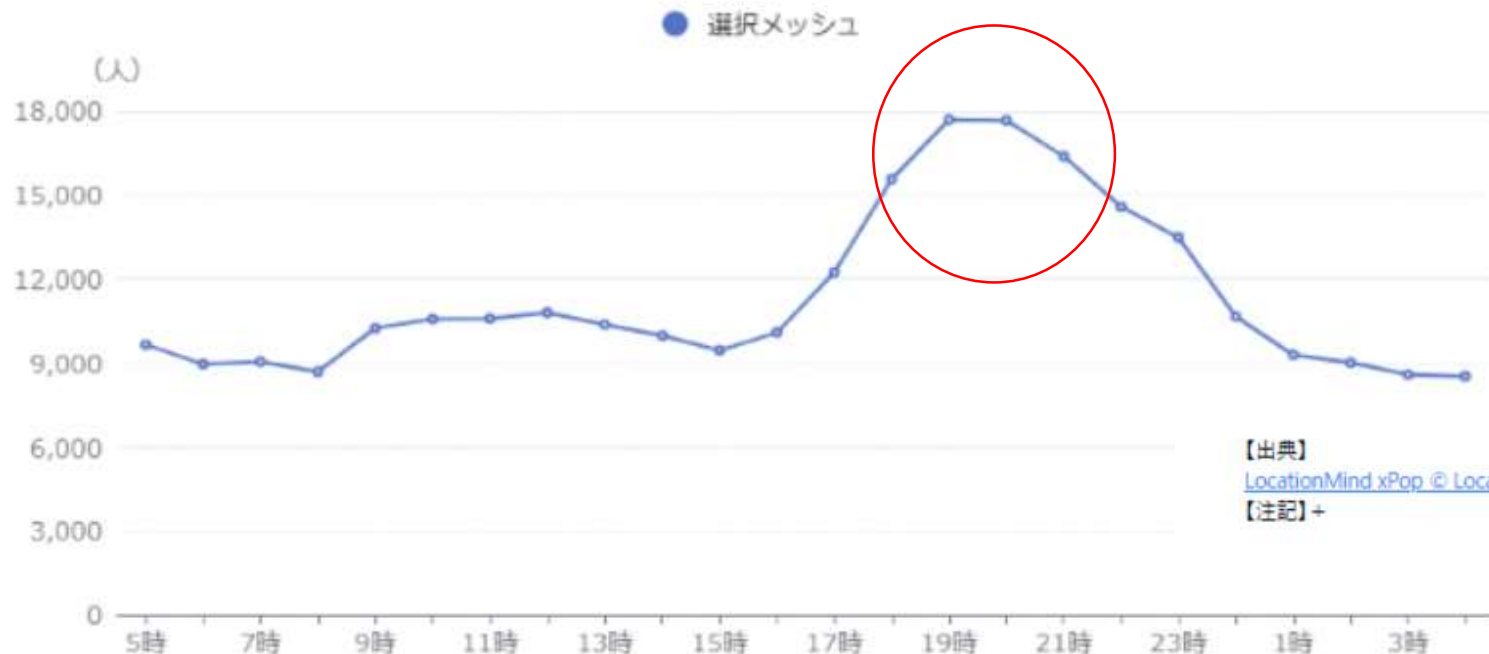
[LocationMind xPop © LocationMind Inc.](#)

【注記】+

古河駅周辺

滞留人口の時間別推移

2024年 すべての月 すべての日 250mメッシュ
(すべての性別、すべての年代、すべての推定居住地)



【出典】

[LocationMind xPop © LocationMind Inc.](#)

【注記】+

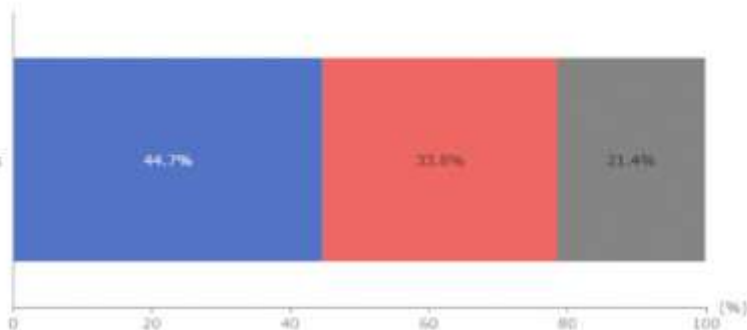
古河駅周辺

滞留人口の属性構成

2024年 全ての月 全ての日 全ての時間帯 250mメッシュ

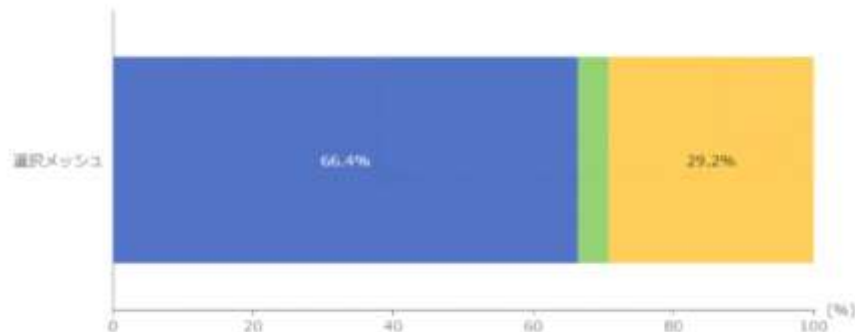
性別構成

■ 男性 ■ 女性 ■ 不明



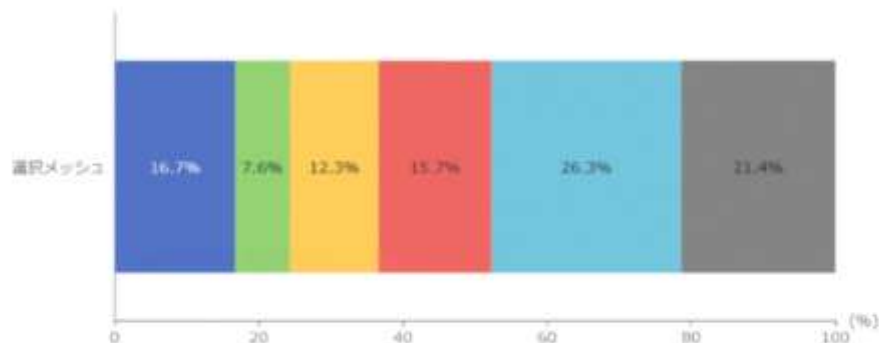
居住地構成

■ 同一市区町村内 ■ 同一都道府県内 ■ 他都道府県



年代構成

■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上 ■ 不明

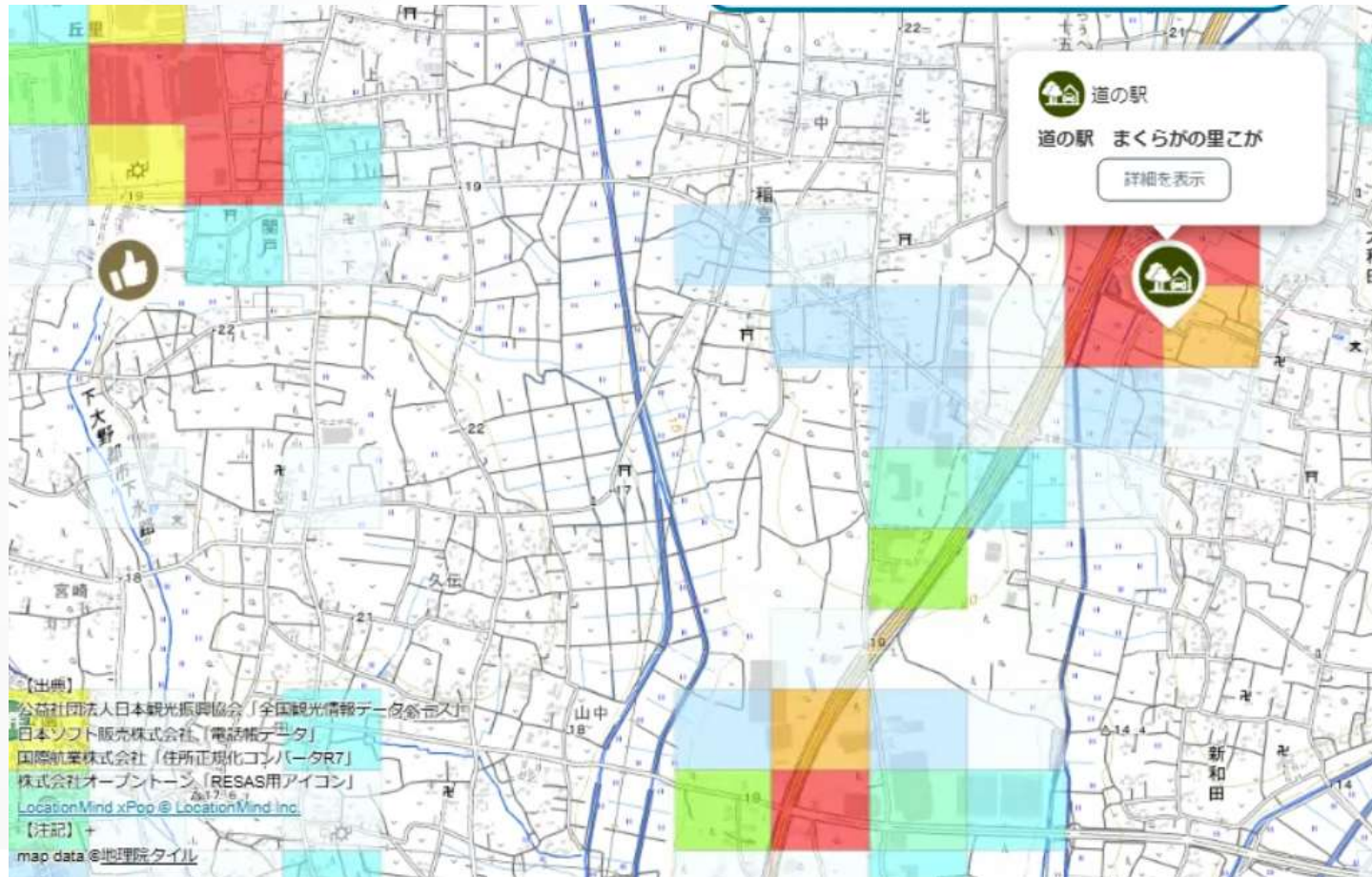


【出典】

[LocationMind xPop © LocationMind Inc.](#)

【注記】+

道の駅周辺



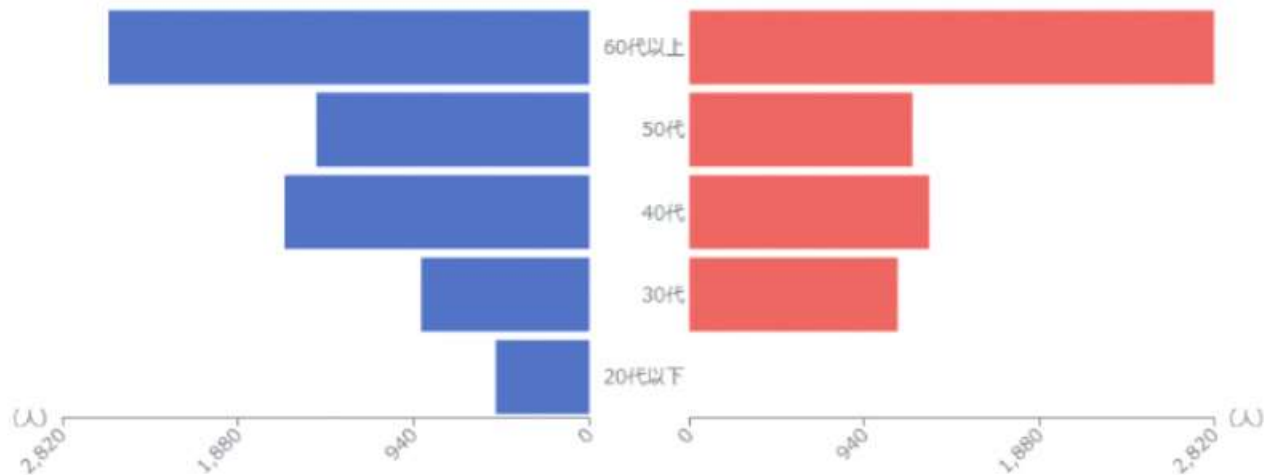
道の駅周辺

滞留人口ピラミッド

2024年 すべての月 すべての日 すべての時間帯 250mメッシュ
(同一都道府県内・他都道府県)

総数 18,000人 (性別・年代不明を含む)

■ 男性 ■ 女性



【出典】

[LocationMind xPop](#) © LocationMind Inc.

【注記】+

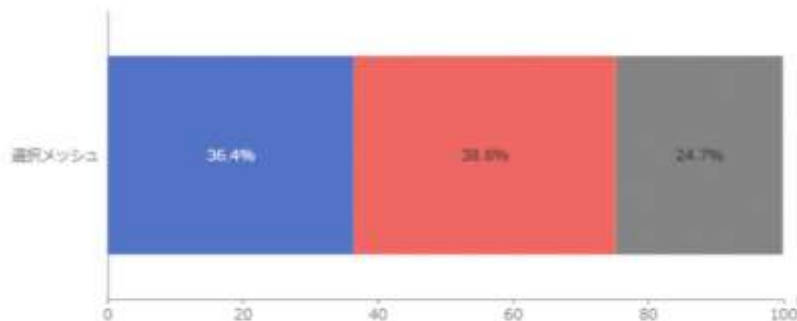
道の駅周辺

滞在人口の属性構成

2024年 すべての月 すべての日 すべての時間帯 250mメッシュ

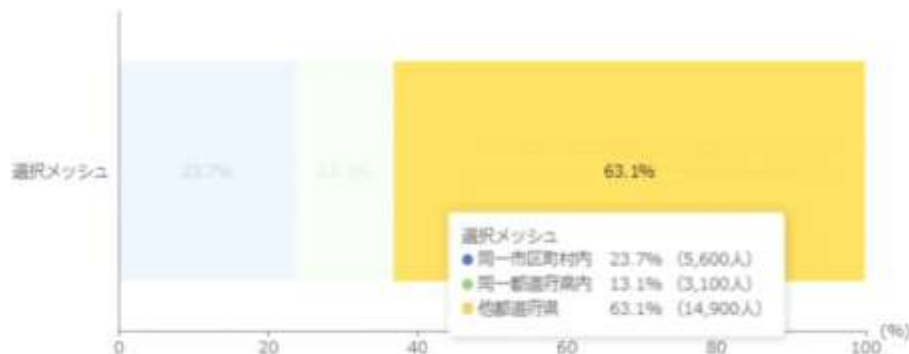
性別構成

男性 女性 不明



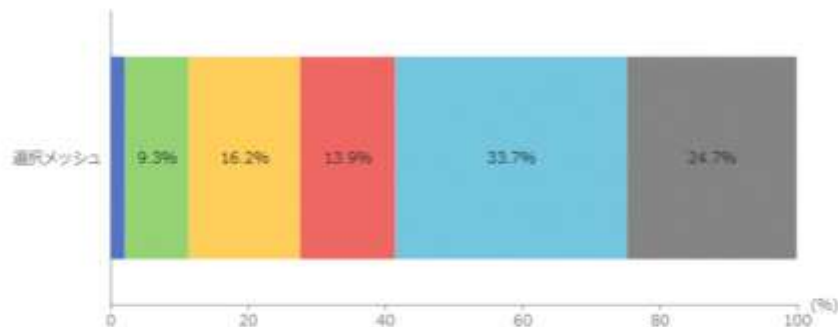
居住地構成

同一市区町村内 同一都道府県内 他都道府県



年代構成

20代以下 30代 40代 50代 60代以上 不明



【出典】

[LocationMind xPop © LocationMind Inc.](#)

【注記】+

道の駅周辺

滞留人口の月別推移

2024年 すべての日 すべての時間帯 250mメッシュ
(すべての性別、すべての年代、同一都道府県内・他都道府県)



【出典】

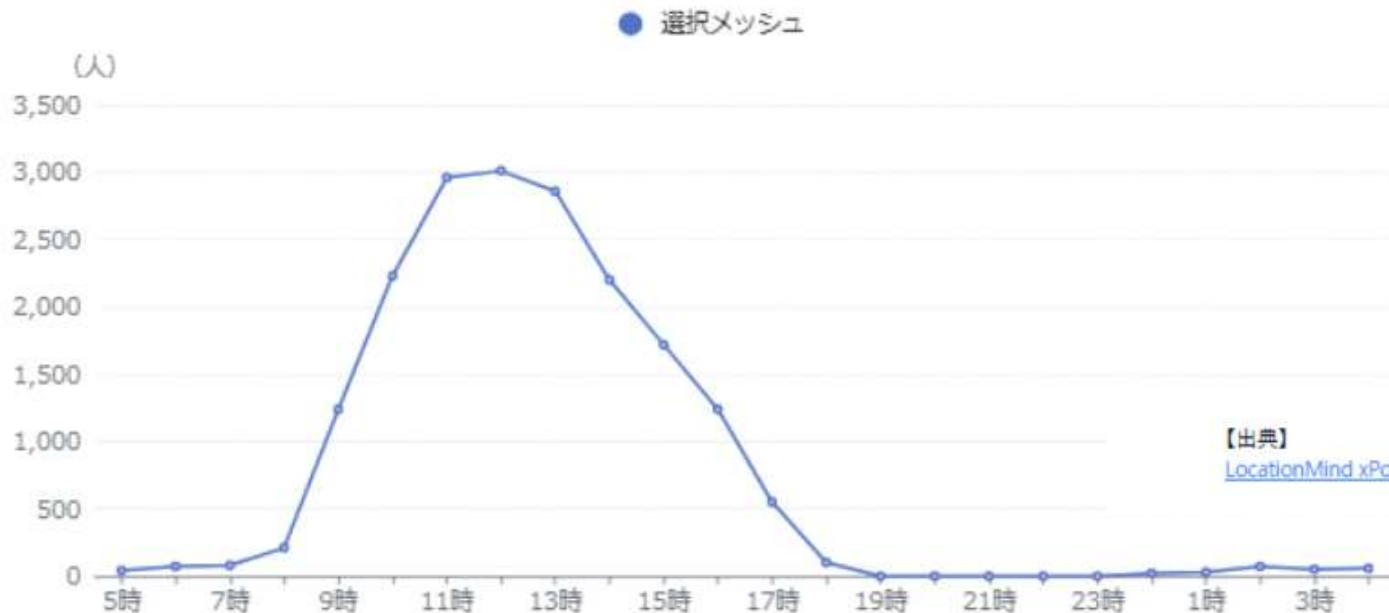
[LocationMind xPop © LocationMind Inc.](#)

【注記】+

道の駅周辺

滞留人口の時間別推移

2024年 すべての月 すべての日 250mメッシュ
(すべての性別、すべての年代、同一都道府県内・他都道府県)



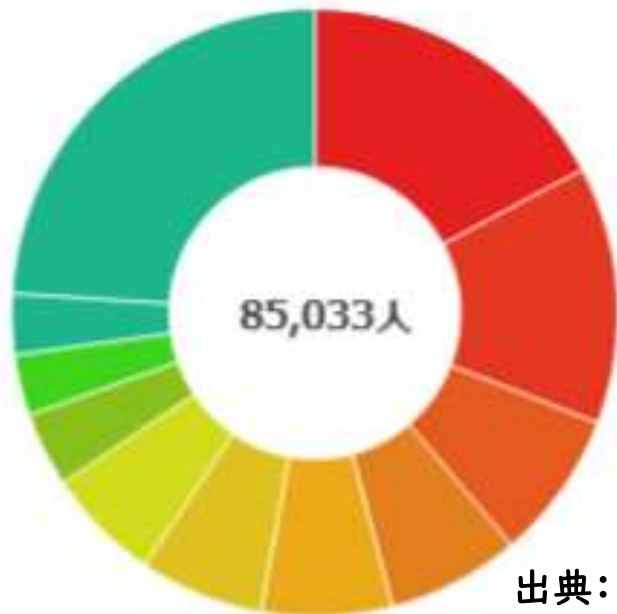
【出典】

[LocationMind xPop © LocationMind Inc.](#)

宿泊者数（居住都道府県別）

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合

2024年 茨城県 古河市



- 1位 東京都 14,623人 (17.20%)
- 2位 神奈川県 11,636人 (13.68%)
- 3位 埼玉県 6,740人 (7.93%)
- 4位 広島県 6,016人 (7.07%)
- 5位 千葉県 5,932人 (6.98%)
- 6位 茨城県 5,632人 (6.62%)
- 7位 大阪府 5,205人 (6.12%)
- 8位 新潟県 3,357人 (3.95%)
- 9位 静岡県 2,763人 (3.25%)
- 10位 宮城県 2,748人 (3.23%)
- その他 20,381人 (23.97%)

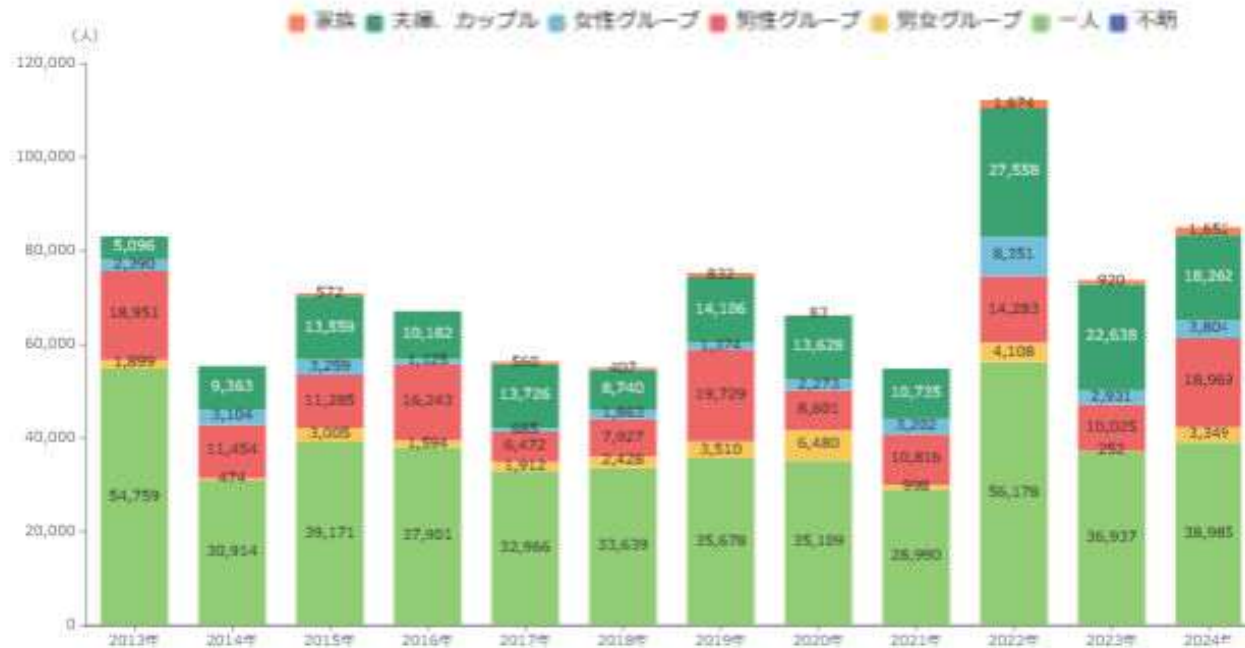
古河市へは、東京や神奈川県をはじめ、南関東からの宿泊者が上位を占めています。

出典：「RESAS地域経済分析システムー観光マップー宿泊者分析」

宿泊者数（参加形態別）

属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

茨城県古河市
参加形態別



宿泊者数の減少
は、特に見られない。

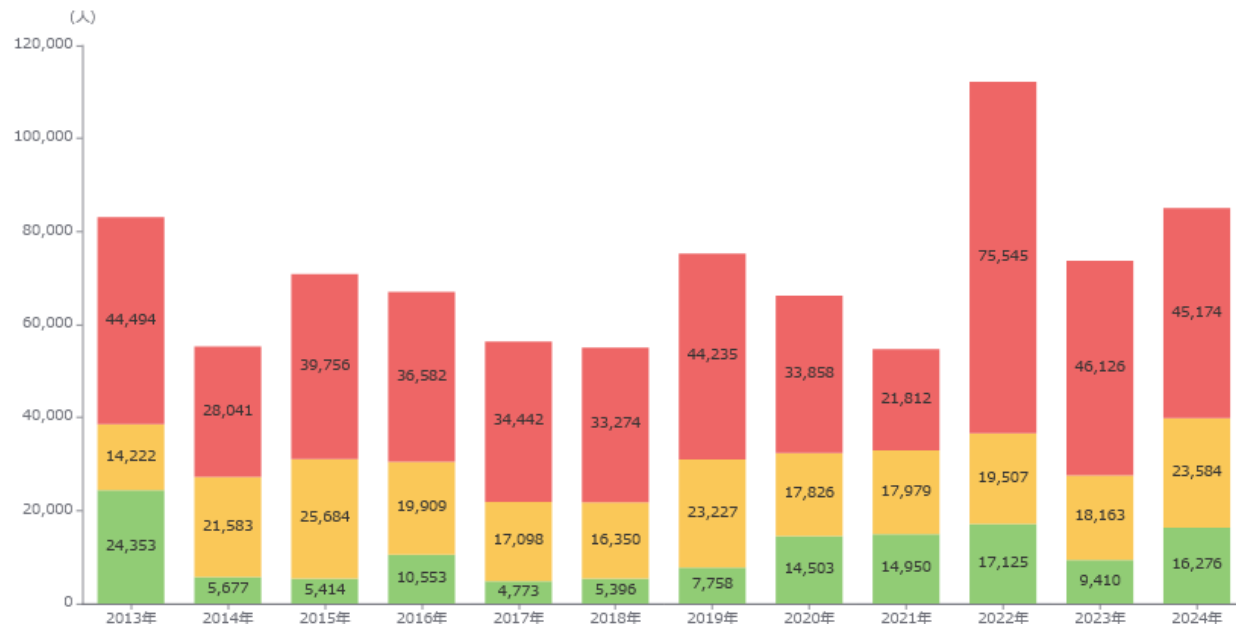
参加形態別にみ
ると、「一人」の割
合が高く、「家族」
の割合が低い。

宿泊者数（宿泊日数別）

属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

茨城県古河市
宿泊日数別

■ 1泊 ■ 2・3泊 ■ 4泊以上 ■ 不明



古河市での宿泊日数は、1泊が多い。

出典：「RESAS地域経済分析システムー観光マップー宿泊者分析」

宿泊施設

施設名	区分
ホテル 山水	ホテル
古河セントラルホテル	ホテル
ホテルサンシャイン	ホテル
ホテル 津賀家	ホテル
ホテル古河ヒルズ	ホテル
ホテルルートイン古河駅前	ホテル
アパホテル〈茨城古河駅前〉	ホテル
エス.ハイドパークホテル	ホテル
若松旅館	旅館

施設名	区分
大谷旅館	旅館
平成館	公共の宿

参考

ホテルルートイン古河駅前 292室
アパホテル〈茨城古河駅前〉164室
ホテル山水 76室

古河市の観光スポット

歴史・見学スポット

施設名	
鷹見泉石（記念館）	家老として、藩主 土井利位（どいとしつら）に仕えた古河藩士。利位が大阪城代であった折りに「大塩平八郎の乱」で鎮圧にあたるなど、大きな働きをしました。
雪の殿様 土井利位	土井利位は20年にわたり観察した雪の結晶を「雪華」と名付け、天保3年（1832）その成果86種を収録する『雪華図説』を刊行しました。
関東有数の城郭 古河城	城の規模は南北およそ1,800メートル、東西350～400メートル（濠幅を含めると450～550メートル）の規模を有します。これに出城である諏訪曲輪（南北105メートル、東西150メートル）がふくまれ、関東でも有数の城郭でした。

出典：古河市観光協会HP

古河市の観光スポット

歴史・見学スポット

施設名	
古河歴史博物館	古河の歴史が学べる博物館。周辺の景観を生かしたこの建物は、1992年の日本建築学会賞・1996年の公共建築賞を受賞しています（設計＝吉田桂二）。
篆刻美術館	平成3年に日本で初めての篆刻専門の美術館として開館し、旧城下町の石町通りに面しています。
永井路子さん旧宅	直木賞作家、永井路子さんの旧宅を修復し一般公開しています。

古河市の観光スポット

絶景スポット

施設名	
古河公方公園	古河公方公園（古河総合公園）は、日本で初の受賞となる「ユネスコ メリナ・メルクーリ国際賞」を受賞しました。春には、矢口、源平、菊桃など2000本の桃の花が咲き誇り、まさに桃源郷を思わせる情景が広がります。
サンワ設計ネーブルパーク	『自然と遊ぶ、自然に学ぶ、自然を感じる』をテーマにしたサンワ設計ネーブルパークは、様々な遊び方でお楽しみいただけます。
スポーツ施設 （古河ゴルフリンクスなど）	“全国高校招待サッカー大会”など、年間を通して大小の各種スポーツの大会が開催され、各種スポーツ施設が充実しています。また、ゴルフリンクスは石川遼選手を育てたコースと知られています。コース設計：金田武明 クラブハウス設計：早川邦彦

出典：古河市観光協会HP、ゴルフ場ランキングクラブ

古河市の観光スポット

グルメ・お土産スポット

古河ブランド商品	古河ゆかりの優れた産品として認証された商品で、現在34品目と認定されている。
ジェラテリア	古河公方公園の内にある飲食施設。 設計：妹島和世氏、西沢立衛氏による「SANAA」
古河のお休み処 坂長	坂長は、出城界隈に位置する古くからの建物で、古河の土産や併設のカフェで飲食をすることも可能です。
道の駅 まくらがの里こが	茨城県最大級の道の駅 地元古河の朝どれ新鮮野菜・果物・こだわりのお米・お花・専門店の弁当やお惣菜などをたっぷりご用意している「つくり手の顔が見える直売所」です。

古河大使※一部抜粋

渡辺裕太	俳優の渡辺徹と榊原郁恵夫妻の長男。平成22年俳優デビュー。平成24年から劇団ポップンマッシュルームチキン野郎に所属。
浅野恭司	昭和50年古河市生まれ。市内小中学校、県立総和高等学校を経て代々木アニメーション学院卒業。アニメ制作会社「Production I.G」を経て、平成24年「WIT STUDIO」を設立。
春風亭柳橋	昭和31年古河市生まれ。市内小中学校、栃木県立栃木高校を経て東京経済大学卒業。いったんは、一般企業に勤めたが、落語家になりたいという思いから、7代目春風亭柳橋に入門。
山室光史	平成元年古河市生まれ。市内小中学校、埼玉栄高等学校を経て日本体育大学を卒業。 平成24年ロンドンオリンピックで団体総合で銀メダルを獲得。

古河市の商工業

古河市産業構成割合(付加価値額)

2021年 古河市産業構成割合(付加価値)

古河市の業種別付加価値額は製造(33.8%)、卸売業・小売業(15.9%)、建設業(10.7%)で約63%を構成しています。

茨城県古河市

- 製造業
47,510百万円(33.8%)
- 卸売業、小売業
22,401百万円(15.9%)
- 医療、福祉
18,102百万円(12.9%)
- 建設業
15,058百万円(10.7%)

- 運輸業、郵便業
12,109百万円(8.6%)
- 宿泊業、飲食サービス業
6,250百万円(4.4%)
- サービス業(他に分類されないもの)
6,244百万円(4.4%)
- 不動産業、物品賃貸業
3,623百万円(2.6%)

- 学術研究、専門・技術サービス業
2,538百万円(1.8%)
- 生活関連サービス業、娯楽業
2,383百万円(1.7%)
- 教育、学習支援業
1,765百万円(1.3%)

- 金融業、保険業
1,564百万円(1.1%)
- 農林漁業
888百万円(0.6%)
- 情報通信業
50百万円(0.0%)
- 電気・ガス・熱供給・水道業
5百万円(0.0%)

古河市産業構成割合(業種別従業員数)

2021年

古河市産業構成割合(業種別従業員数)【企業単位】

古河市の業種別従業員数は製造業(25.2%)、卸売業、小売業(16.1%)、医療、福祉(14.4%)で約56%を構成しています。

茨城県古河市



古河市産業構成割合(事業所数)

2021年

古河市産業構成割合(事業所数)

古河市の事業所数は卸売業・小売業(23.6%)、建設業(13.3%)、製造業(11.6%)、宿泊業、飲食サービス業(10.2%)で約59%を構成しています。



付加価値額（修正特化係数・産業別） 茨城県古河市・2018年・第二次産業 輸送用機械

修正特化係数は、輸送用機械が最も高く、9.96となっています。次いで金属製品が2.40、食料品が1.80となっています。



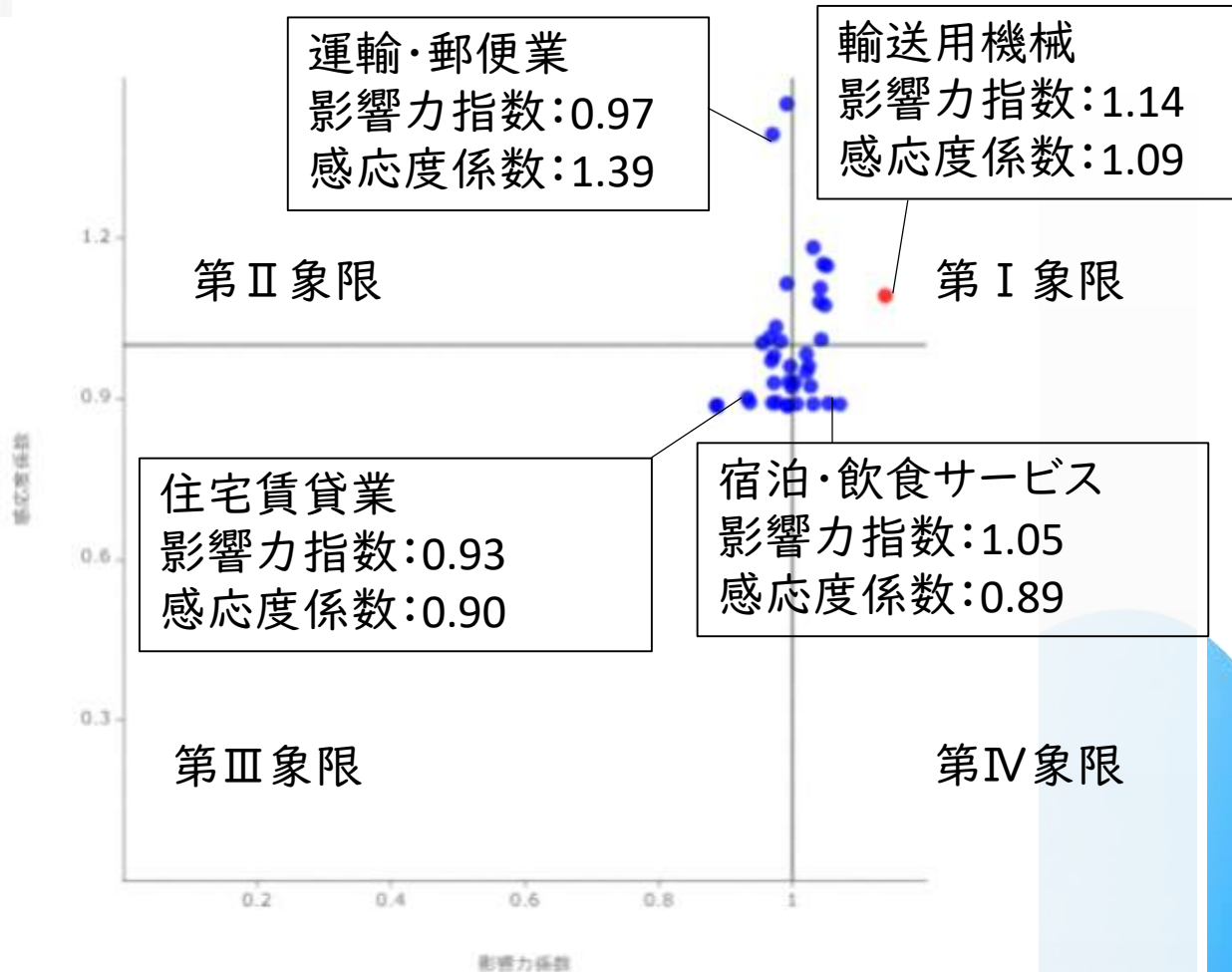
影響力・感応度分析

茨城県古河市

2018年

第2次産業>輸送用機械

輸送用機械は、他産業へ与える影響かつ他産業から受ける影響が大きい産業となるため、地域内取引の核となる産業になる可能性が考えられます。



影響力・感応度分析

第一象限に着目

第Ⅱ象限

第Ⅰ象限

情報通信業
影響力指数:1.03
感応度係数:1.18

鉄鋼
影響力指数:1.05
感応度係数:1.15

輸送用機械
影響力指数:1.14
感応度係数:1.09

化学
影響力指数:1.04
感応度係数:1.11

食料品
影響力指数:1.04
感応度係数:1.08

第Ⅲ象限

第Ⅳ象限

パルプ紙・紙加工
影響力指数:1.05
感応度係数:1.07

その他、第Ⅰ象限にある産業は、情報通信業、鉄鋼、化学、食料品、パルプ紙・紙加工などがあげられます。

古河市の農業

農家の概要

総農家数

(単位:戸)

	2015年 (a)	2020年 (b)	差 (b-a)	比率(b/a)
古河市	2,637	2,176	▲461	83%
茨城県	87,678	71,761	▲15,917	82%
全国	2,155,082	1,747,079	▲408,003	81%

出典:農林業センサス、農林業経営体調査報告書より抜粋

農家の概要

農業経営体総数

(単位:経営体)

	2015年 (a)	2020年 (b)	差 (b-a)	比率(b/a)
古河市	1,736	1,355	▲381	78%
茨城県	57,989	44,852	▲13,137	77%
全国	1,377,266	1,075,705	▲301,561	78%

出典:農林業センサス、農林業経営体調査報告書より抜粋

農家の概要

農業経営体数(個人経営体)

(単位:経営体)

	2015年 (a)	2020年 (b)	差 (b-a)	比率(b/a)
古河市	1,719	1,331	▲388	77%
茨城県	57,348	44,009	▲13,339	77%
全国	1,344,287	1,037,342	▲306,945	77%

出典:農林業センサス、農林業経営体調査報告書より抜粋

農家の概要

農業経営体数(団体経営体)

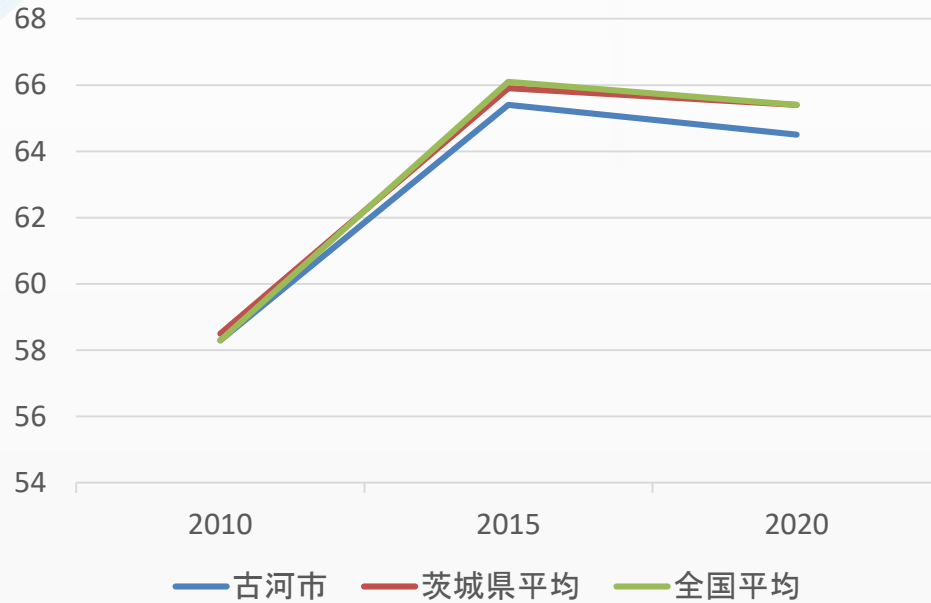
(単位:経営体)

	2015年 (a)	2020年 (b)	差 (b-a)	比率(b/a)
古河市	17	24	7	141%
茨城県	641	843	202	132%
全国	32,979	38,363	5,384	116%

出典:農林業センサス、農林業経営体調査報告書より抜粋

農家の概要

農業者の平均年齢（単位：歳）



	2010年	2015年	2020年
古河市	58.3歳	65.4歳	64.5歳
茨城県平均	58.5歳	65.9歳	65.4歳
全国平均	58.3歳	66.1歳	65.4歳

出典：農林業センサス、農林業経営体調査報告書より抜粋

農家の概要

耕地面積 (単位:ha)

	2015年 (a)	2020年	2024年 (b)	差 (b-a)	比率 (b/a)
古河市	5,060	4,850	4,660	▲400	92%
茨城県	170,900	163,600	158,300	▲12,600	93%
全国	4,496,000	4,372,000	4,272,000	▲224,000	95%



出典: 農林水産省 作物統計 面積調査、わがマチわがムラ

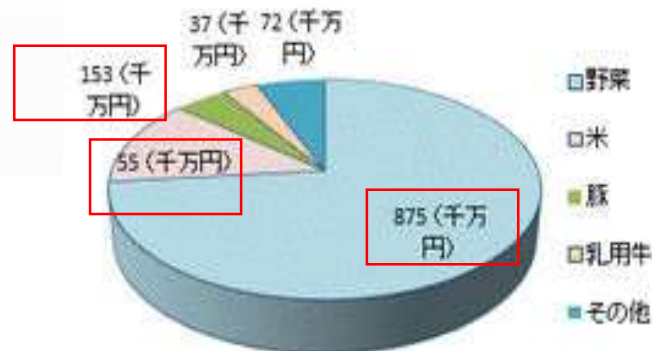
農業部門別の産出額・農業経営体数

■ 農業産出額(推計)

■ 農業経営体数

合計	1,192 千万円	1,355 経営体
耕種計	1,077 千万円	
米	153 千万円	995 経営体
麦類	4 千万円	12 経営体
雑穀	7 千万円	10 経営体
豆類	1 千万円	13 経営体
いも類	10 千万円	30 経営体
野菜	875 千万円	682 経営体
果実	2 千万円	21 経営体
花き	X	31 経営体
工芸農作物	2 千万円	15 経営体
種苗・苗木類・その他	X	
畜産計	115 千万円	
肉用牛	13 千万円	8 経営体
乳用牛	37 千万円	7 経営体
うち生乳	37 千万円	
豚	55 千万円	11 経営体
鶏	10 千万円	
うち鶏卵	10 千万円	6 経営体
うちブロイラー	-	-
その他畜産物	0 千万円	
加工農産物	0 千万円	

農業産出額の内訳



農業経営体数



注1: 農業産出額(推計)については令和5年市町村別農業産出額(推計)、農業経営体数については2020年農林業センサス。

注2: 農業経営体数の合計は実経営体数のため内訳と一致しない。

出典: 農林水産省、統計情報、わがマチわがムラより

販売を目的とした農畜産物の作付・飼養状況

■ 稲、麦、雑穀、いも類、豆类、工芸農作物

	農業経営体数	作付面積
水稻	961 経営体	1,071 ha
陸稲	138 経営体	86 ha
麦類		
小麦	11 経営体	92 ha
大麦	4 経営体	X
裸麦	-	-
そば	9 経営体	193 ha
その他雑穀	1 経営体	X
いも類		
ばれいしょ	26 経営体	38 ha
かんしょ	10 経営体	X
豆类		
大豆	8 経営体	12 ha
小豆	3 経営体	0 ha
その他の豆类	6 経営体	1 ha
工芸農作物		
さとうきび	-	-
なたね	-	-
茶	6 経営体	9 ha
てんさい	-	-
こんにゃくいも	-	-
その他工芸農作物	9 経営体	13 ha

■ 畜産

	農業経営体数	飼養頭(羽)数
乳用牛	7 経営体	272 頭
肉用牛	8 経営体	X
豚	11 経営体	4,339 頭
採卵鶏	6 経営体	263 百羽
	農業経営体数	出荷羽数
ブロイラー	-	-

■ 野菜

	農業経営体数	作付面積
だいこん	73 経営体	X
にんじん	47 経営体	X
さといも	30 経営体	5 ha
やまのいも	X	X
はくさい	228 経営体	278 ha
キャベツ	430 経営体	665 ha
ほうれんそう	92 経営体	15 ha
レタス	294 経営体	437 ha
ねぎ	65 経営体	X
たまねぎ	21 経営体	2 ha
ブロッコリー	108 経営体	31 ha
ぎゅうり	62 経営体	11 ha
なす	183 経営体	35 ha
トマト	44 経営体	6 ha
ピーマン	33 経営体	X
いちご	4 経営体	X
メロン	15 経営体	7 ha
すいか	6 経営体	1 ha
その他の野菜	266 経営体	172 ha

■ 花き

	農業経営体数	栽培面積
花き類	23 経営体	11 ha
花木	12 経営体	X

■ その他の作物

	農業経営体数	栽培面積
その他の作物(飼料用は除く)	29 経営体	53 ha

■ 果樹

	農業経営体数	栽培面積
温州みかん	1 経営体	X
その他のかんきつ	X	X
りんご	-	-
ぶどう	2 経営体	X
日本なし	-	-
西洋なし	-	-
もも	-	-
すもも	-	-
おうとう	X	X
うめ	2 経営体	X
びわ	-	-
かき	5 経営体	0 ha
くり	13 経営体	6 ha
キウイフルーツ	-	-
パインアップル	-	-
その他の果樹	4 経営体	X

2020年農林業センサスによる作付面積によると、古河市は、1位が水稻の1,071ha、2位は、キャベツの665ha、3位はレタスの437ha、

次いではくさいが278haとなっている。農作物では、葉物野菜が作付面積の中心となっている。

注1：2020年農林業センサスによる令和2年2月1日前1年間の値。
 注2：作付(栽培)面積については、販売を目的として作付け(栽培)された面積。
 注3：農家の自己申告による。

農業産出額と経営体数の比較

	農業産出額(億円) (a)	耕地面積 (ha) 【 総土地面積における耕地 面積の割合 】 (b)	総土地面積 (ha)	経営体数(運営体) (c)	1経営体あたりの農業 算出額(万円) (a)/(c)	1経営体あたりの耕 地面積(a) (b)/(c)
古河市	119.2	4,660【38%】	12,358	1,355	880	344
境町	55.3	2,150【46%】	4,659	610	907	352
八千代町	238.7	3,500【59%】	5,899	877	2,722	399
結城市	158.2	3,290【50%】	6,576	839	1,886	392
小山市	116.6	7,670【45%】	17,175	1,757	664	437
久喜市	36.4	3,020【37%】	8,241	1,263	288	239
茨城県	4,536	158,300【26%】	609,739	44,852	1,011	353

↓ 経営体あたりの農業産出額、耕地面積ともに県平均を下回っている

出典：農林水産省、統計情報、わがマチわがムラより

農業産出額と経営体数の比較

	農業産出額(億円) (a)	耕地面積 (ha) 【 総土地面積における耕地 面積の割合 】 (b)	総土地面積 (ha)	経営体数(運営体) (c)	1経営体あたりの農業 算出額(万円) (a)/(c)	1経営体あたりの耕 地面積(a) (b)/(c)
古河市	119.2	4,660【38%】	12,358	1,355	880	344
境町	55.3	2,150【46%】	4,659	610	907	352
八千代町	238.7	3,500【59%】	5,899	877	2,722	399
結城市	158.2	3,290【50%】	6,576	839	1,886	392
小山市	116.6	7,670【45%】	17,175	1,757	664	437
久喜市	36.4	3,020【37%】	8,241	1,263	288	239
茨城県	4,536	158,300【26%】	609,739	44,852	1,011	353

↓ 経営体あたりの農業産出額、耕地面積ともに県平均を下回っている

出典：農林水産省、統計情報、わがマチわがムラより

農産物出荷先別経営体数

	経営体数 (経営体)	農産物の 販売なし (経営体)	農産物の出荷先別						単位(経営体)
			農協	農協以外の 集出荷団体	卸売市場	小売業者	食品製造業 外食産業	消費者に直 接販売	
古河市	1,355	148	303	262	460	272	65	150	370
境町	610	45	263	171	144	83	21	73	121
八千代町	877	22	590	192	310	47	37	51	85
結城市	839	73	468	119	265	113	17	80	145
茨城県	44,852	3,991	22,313	9,537	5,393	8,193	1,575	5,715	9,388
全国	1,075,705	97,495	704,393	143,875	111,845	96,161	40,242	207,600	232,496

全国や県、近隣市町の出荷先は、農協が最も多いが、古河市は卸売市場への出荷が1位となっている。2位は農協、3位は小売業者である。

出典：農林業センサス、農林業経営体調査報告書より抜粋



④データから見た 古河市の現状と課題

人口動態

①若年層が流出

②出生数が減少

③高齢化の進行

地域経済循環

- ①第二産業の付加価値額が高い
- ②雇用者所得（1人あたり）は1741市区町村中192位
- ③地域外への流出と流入の差は－14億円（流出）

観光

- ①短期滞在者が多い
- ②滞在コンテンツ不足
- ③誘客に結びつく動線が弱い
- ④地域の消費の広がりが限定的

商工業

- ①製造業は付加価値が高く、従業員数も多い
- ②事業所別にみると卸売業・小売業が多い
- ③稼ぐ力が強いのは輸送用機械
- ④第二、第三の地域の核となる産業の育成、誘致

農業

- ①農家数、耕地面積の減少
- ②高齢化による労働力の低下、後継者不足
- ③団体経営が増加している
- ④葉物野菜が作付面積の中心となっている
- ⑤農業の高付加価値化



⑤ワークショップへ

観光業

域外需要
の獲得

関係交流人口・域外売上・投資で外貨を断続的に獲得
(ヒト・カネを
地域に呼び込む)

地域内循環
の強化

域内で調達と再投資でお金の流出を抑制。関係交流人口の回遊性を高める
(ヒト・カネを
地域内でまわす)

稼ぐ力を
あげる

稼いだお金を使って
生産性向上、高付加価値化
市場・販路開拓
(カネを投資する)

推進基盤
の整備

人材の確保・育成、事業承継、
交通アクセス、制度・連携体制を強化して地域を支える

現状(定量・定性)

課題

取組の方向性

現状(定量・定性)

課題

取組の方向性

域外需要
の獲得

関係交流人口・域外売上・投資で外貨を断続的に獲得
(ヒト・カネを
地域に呼び込む)

地域内循環
の強化

域内で調達と再投資でお金の流出を抑制。関係交流人口の回遊性を高める
(ヒト・カネを
地域内でまわす)

稼ぐ力を
あげる

稼いだお金を使って
生産性向上、高付加価値化
市場・販路開拓
(カネを投資する)

推進基盤
の整備

人材の確保・育成、事業承継、
交通アクセス、制度・連携体制を強化して地域を支える

農業

現状(定量・定性)

課題

取組の方向性

域外需要
の獲得

関係交流人口・域外売上・投資で外貨を断続的に獲得
(ヒト・カネを
地域に呼び込む)

地域内循環
の強化

域内で調達と再投資でお金の流出を抑制。関係交流人口の回遊性を高める
(ヒト・カネを
地域内でまわす)

稼ぐ力を
あげる

稼いだお金を使って
生産性向上、高付加価値化
市場・販路開拓
(カネを投資する)

推進基盤
の整備

人材の確保・育成、事業承継、
交通アクセス、制度・連携体制を強化して地域を支える